

# ゲンバイヒルガオ

*Ipomoea pes-caprae* subsp. *brasiliensis*

ヒルガオ科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 掲載なし



種子植物

広く安定した海岸砂丘に生える多年生のつる植物。種子は海水に運ばれ、砂浜に打ち上げられ発芽する。茎は長く砂をはい、葉は厚く光沢があり軍配形。花期は7～8月、紅紫色の花をつける。暖帯から熱帯にまで分布する植物で寒さに弱い。ここ10年ほど当該地域のごく限られた海岸で越冬を続けている。冬季の寒気による影響を受けるほか、砂浜の減少や波で打ち上げられた漂流物による埋没などもあって、絶滅の危険性が極めて高い。

(写真・文：真柴茂彦)

県内分布 (別府湾沿岸域), 豊後水道域

分布域 四国(南部), 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎), 沖縄  
熱帯一般